

『ツンデレ風味なお姉さんの耳かき!』

■登場人物

お姉さん

二十五歳程度の大人っぽいしっかりした明るいお姉さん。
少しツンデレ風味がある。

■状況

主人公には五つほど年上のお姉さんが居た。
お姉さんはいつも主人公の家に遊びに行っていた。
理由は主人公にはわかっていない。
いつものようにゲームをしてお泊りをしているお姉さんだったが、
突然話は進んでいく…。

るんだよー。

いいのかな？

してたら何されるかわかんないよ。

はよ。

へへ、びっくりした？

ふふ、いつからいたって

うーん、昨日の晩に

えーとそのあと

そそ、ずっと

だった

よね。

きるかわかんないでしょ？

んだけど、

うちやってるよ？

ために掃除しなさい！って言ったの

ためておいた？

何バカみたいなこと言ってるのよ。

はいはいわかったわかった、私が仕方

耳かき棒取って来るね。

はい！じゃあ右耳向けて、